平成25年度　第10回　東区協議会　次第

日時：平成26年1月27日（月）午後1時30分から
会場：東区役所　3階　31、32会議室

1　開会

2　会長あいさつ

3　議事

(1) 協議事項について
東区協議会推薦会の報告について　【区振興課】

(2) 報告事項について
ア　今後における高齢者福祉施策のあり方について③　【高齢者福祉課】
イ　地域力向上事業の中間報告について　【区振興課】

(3) 地域課題について
区協議会委員会報告について

4　その他

(1) その他

(2) 2月の開催予定　平成26年2月25日（火）午後1時30分から
会場　長上協働センター　1階　ホール

3月の開催予定　平成26年3月　日（　）午後1時30分から
会場　東区役所　3階　31、32会議室

5　閉会

第 9 号様式

区　協　議　会

<table>
<tr><td>区　　分</td><td colspan="5">□諮問事項　　■協議事項　　□報告事項</td></tr>
<tr><td>件　　名</td><td colspan="5">東区協議会推薦会の報告について</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業の概要
（背景、経緯、
現状、課題等）</td><td colspan="4">平成 26 年度からの東区協議会の委員を決定するもの。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象の区協議会</td><td colspan="4">東区</td></tr>
<tr><td colspan="2">内　　容</td><td colspan="4">1 月 20 日（月）に開催された第 2 回東区協議会推薦会において、公共的団体等から委員を選任する案と公募委員の推薦者の案と直接指名委員推薦者の案を提示する。ご協議願いたい。
案は、別紙のとおりである。</td></tr>
<tr><td colspan="2">備　考
（答申・協議結果を得たい時期、今後の予定など）</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>担当課</td><td>東区・区振興課</td><td>担当者</td><td>金山、前</td><td>電話</td><td>424-0115</td></tr>
</table>

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

東区協議会　公共的団体等選定一覧（案）

No.	団体等名	候補者名	地区
1	浜松市東区自治会連合会（6） 会長　窪野　泰久		
2	浜松市東区民生委員児童委員協議会（2） 会長　稲田　謙一		
3	東区地区社協推進協議会（1） 会長　田中　充		
4	浜松市人権擁護委員連絡協議会（1） 会長　石貝　正道		
5	浜松市東区保護司会（1） 会長　稲垣　道雄		
6	浜松市子ども会連合会（1） 会長　田中　勝敏		
7	浜松市 PTA 連絡協議会（1） 会長　鈴木　茂之		
8	とぴあ浜松農業協同組合（1） 代表理事理事長　中野　信夫		
9	蒲ザクラの里実行委員会（1） 推進委員　稲垣　邦圓		
10	中野町を考える会（1） 会長　河村　善成		
11			
12			

東区協議会　公募委員推薦者一覧（案）

No.	氏　名	ふりがな	所在	推薦調書整理No.
1	小川　典男	おがわ　のりお		2-1
2	山田　俊明	やまだ　としあき		2-2
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

東区協議会委員　推薦調書（案）

整理№2-1

<table>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>ふりがな</td><td colspan="3">おがわ　のりお</td></tr>
<tr><td>氏名又は団体名等
（法人の場合は代表者名もご記入ください）</td><td colspan="3">小川　典男</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2</td><td rowspan="3">推薦の種類</td><td>1　公共的団体等</td><td>分野</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">[2]　公募委員</td></tr>
<tr><td>3　直接指名</td><td>分野</td><td></td></tr>
<tr><td>3</td><td>住所
（平成 26 年 3 月現在）</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>4</td><td>電話番号</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>5</td><td>性別</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>6</td><td>生年月日</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>7</td><td>現職
（平成 26 年 3 月現在）</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>8</td><td>特記事項
※　これまでの
活動実績など</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

※　団体等の場合は、性別、生年月日、現職は記載不要

東区協議会委員　推薦調書（案）

整理№2-2

<table>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>ふ　り　が　な</td><td colspan="3">やまだ　としあき</td></tr>
<tr><td>氏名又は団体名等
（法人の場合は代表者名もご記入ください）</td><td colspan="3">山田　俊明</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2</td><td rowspan="3">推薦の種類</td><td>1　公共的団体等</td><td>分野</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">2　公募委員</td></tr>
<tr><td>3　直接指名</td><td>分野</td><td></td></tr>
<tr><td>3</td><td>住　所
（平成 26 年 3 月現在）</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>4</td><td>電　話　番　号</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>5</td><td>性　別</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>6</td><td>生　年　月　日</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>7</td><td>現　職
（平成 26 年 3 月現在）</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>8</td><td>特　記　事　項
※　これまでの
活動実績など</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

※　団体等の場合は、性別、生年月日、現職は記載不要

東区協議会　直接指名委員推薦者一覧（案）

No.	氏　名	ふりがな	所在	推薦調書整理No.
1	市川　千次	いちかわ　せんじ		3-1
2	村越　義明	むらこし　よしあき		3-2
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

東区協議会委員　推薦調書（案）

整理№3-1

<table>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>ふりがな</td><td colspan="3">いちかわ　せんじ</td></tr>
<tr><td>氏名又は団体名等
（法人の場合は代表者名もご記入ください）</td><td colspan="3">市川　千次</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2</td><td rowspan="3">推薦の種類</td><td>1　公共的団体等</td><td>分野</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">2　公募委員</td></tr>
<tr><td>3　直接指名</td><td>分野</td><td></td></tr>
<tr><td>3</td><td>住所
（平成 26 年 3 月現在）</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>4</td><td>電話番号</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>5</td><td>性別</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>6</td><td>生年月日</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>7</td><td>現職
（平成 26 年 3 月現在）</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>8</td><td>特記事項
※　これまでの
活動実績など</td><td colspan="3">東区協議会委員</td></tr>
</table>

※　団体等の場合は、性別、生年月日、現職は記載不要

東区協議会委員　推薦調書（案）

整理№3-2

<table>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>ふりがな</td><td colspan="3">むらこし　よしあき</td></tr>
<tr><td>氏名又は団体名等
（法人の場合は代表者名もご記入ください）</td><td colspan="3">村越　義明</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2</td><td rowspan="3">推薦の種類</td><td>1　公共的団体等</td><td>分野</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">2　公募委員</td></tr>
<tr><td>3　直接指名</td><td>分野</td><td></td></tr>
<tr><td>3</td><td>住所
（平成 26 年 3 月現在）</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>4</td><td>電話番号</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>5</td><td>性別</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>6</td><td>生年月日</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>7</td><td>現職
（平成 26 年 3 月現在）</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>8</td><td>特記事項
※　これまでの
活動実績など</td><td colspan="3">東区協議会委員</td></tr>
</table>

※　団体等の場合は、性別、生年月日、現職は記載不要

第９号様式

区　協　議　会

<table>
<tr><td>区　　分</td><td colspan="5">□諮問事項　　□協議事項　　■報告事項</td></tr>
<tr><td>件　　名</td><td colspan="5">今後における高齢者福祉施策のあり方について③</td></tr>
<tr><td>事業の概要
（背景、経緯、
現状、課題等）</td><td colspan="5">［目的と背景］
１　高齢者の状況変化と施策の方向転換
・超高齢社会への突入に伴い、今後における高齢者人口の急速な伸びやひとり暮らし高齢者の急増、また高齢者を支える生産年齢人口の減少が見込まれる。
・高齢者をとりまく状況の変化により、立場の弱い高齢者や不安を抱える高齢者が増加しており、これへの対応が急務となっている。
・今後 10 年先を見据え、弱い立場にある高齢者を支援する要介護者対策に重点的に取り組むよう高齢者福祉施策の方向転換を行う。

２　市単独高齢者大型給付事業の見直しによる財源の再配分
・高齢者関係事業費は、対象となる高齢者人口の伸びに伴い、今後も増嵩することが見込まれる。
・厳しい行財政状況下では、課題対応のために新たな財源を捻出することは難しく、限られた財源を効率的に配分する必要がある。
・市単独高齢者大型給付事業を現在の社会情勢と照らし合わせる中で見直しを行い、再配分する。

［施策の方向転換］
１　基本方針（要介護者対策へのシフト）
・弱い立場にある高齢者を支援する対策に重点的に取り組む。

２　今後重点的に取り組む事業
・特別養護老人ホームにおける入所待機者の深刻な状況を解消するとともに、重度の要介護者の生活の場を確保するため、介護付き有料老人ホーム等とのすみわけによる計画的な整備を推進する。
・加齢による運動器の衰えにより要介護状態に悪化しないようにするため、介護予防としてロコモーショントレーニングを普及する。
・[関連事業] 元気な高齢者の新たな社会参加の仕組みづくりとして、介護・福祉分野のボランティア活動を奨励する特典つきボランティアポイント制度を導入する。</td></tr>
<tr><td>対象の区協議会</td><td colspan="5">全ての区協議会</td></tr>
<tr><td>内　　容</td><td colspan="5">［説明事項］
これまでの協議結果をふまえた最終案の報告
Ⅰ　高齢者福祉施策の方向転換
Ⅱ　今後重点的に取り組む事業
Ⅲ　市単独大型給付事業の見直し</td></tr>
<tr><td>備　考
（答申・協議結果を得たい時期、今後の予定など）</td><td colspan="5">・説明にはパワーポイントを使用。
・説明 15 分、質疑応答 15 分の計 30 分程度を予定。</td></tr>
<tr><td>担当課</td><td>高齢者福祉課</td><td>担当者</td><td>密岡、鈴木</td><td>電話</td><td>457-2789</td></tr>
</table>

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

平成25年11月29日
第4回高齢者福祉専門分科会

中　区協議会（1/24）　東　区協議会（1/27）
西　区協議会（1/29）　南　区協議会（1/31）
北　区協議会（1/23）　浜北区協議会（1/23）
天竜区協議会（1/29）

今後における高齢者福祉施策のあり方について ③

最終案	Ⅰ　高齢者福祉施策の方向転換
	Ⅱ　今後重点的に取り組む事業
	Ⅲ　市単独大型給付事業の見直し

健康福祉部高齢者福祉課

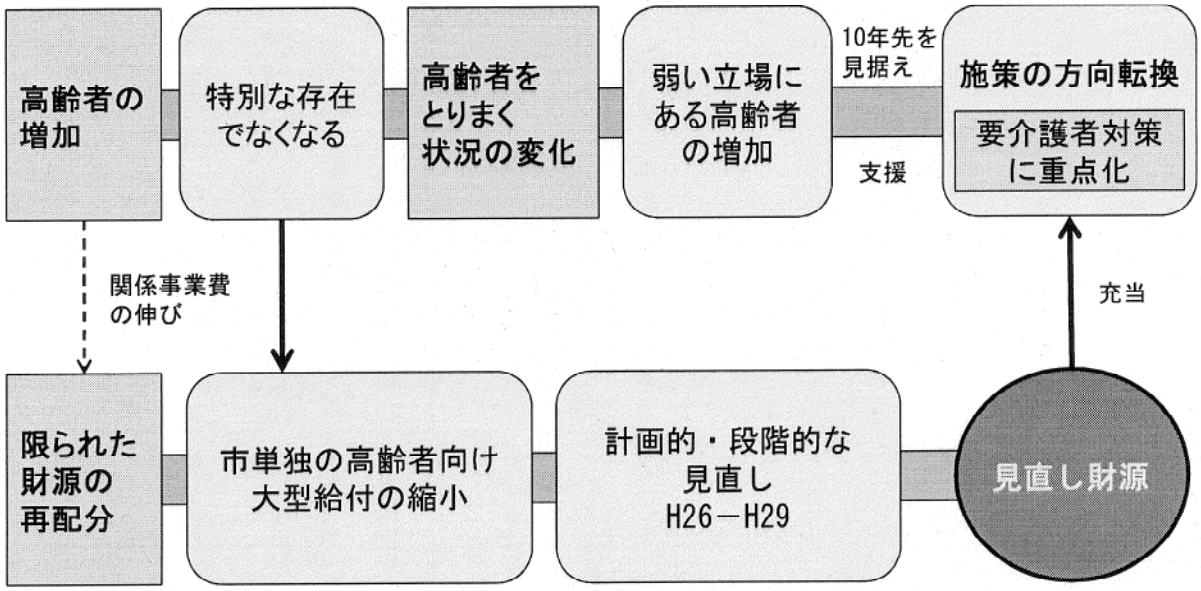
これまでの協議状況

	①総論部分（課題提案）	②各論部分（素案提案）	③最終案 ※予定含む
社会福祉審議会 高齢者福祉専門分科会	7/5, 7/18	9/20	11/29
自治会連合会 教育福祉部会	8/1	－	1/14
〃　理事会	8/23	10/28	2/20
社会福祉施設協議会 老人部会	8/21	10/23	12/18
市議会厚生保健委員会	8/22	(10/16)	12/4
シニアクラブ浜松市 常任理事会	9/10	11/5	3/6
区協議会（中、東、西、南、北、浜北、天竜）	9/25～10/11	10/23～11/28	1/23～1/31
民生委員児童委員協議会 理事会	11/1	11/1	2/3

市からの提案

（ 最終案 ）

Ⅰ 高齢者福祉施策の方向転換



Ⅱ 今後重点的に取り組む事業

1	重度の要介護者等のために 生活の場を確保	**特別養護 老人ホーム等の整備** （入所待機者の解消）	拡充
2	要介護状態にならないために 運動器機能の衰えを防止	**ロコモーション トレーニングの普及** （介護予防の推進）	新規

関連事業	元気な高齢者の 社会参加の仕組みづくり	**ボランティアポイント 制度の導入** （ボランティア活動の奨励）	新規

重点事業　1

特別養護老人ホーム等の整備

入所待機者の深刻な状況の解消
さらに計画的な整備の推進
介護付き有料老人ホーム等とのすみ分け

[現状]Ｈ２５

ベッド数
3,769床
待機者数
3,083人
うち在宅重度者
417人

→

[目標]Ｈ３０

ベッド数
5,000床規模
待機者数
2,500人以下
うち在宅重度者
0人（解消）

年度別計画（特養等の整備）

（床、千円）

区　分		H26	H27	H28	H29
整備計画	特養	278	250	250	250
	ｼｮｰﾄｽﾃｲ	40	30	30	30
	介護付き有料老人ホーム	120	120	120	120
	計	438	400	400	400
事業費（補助）		860,000	756,000	756,000	756,000
介護給付費のうち市費		0	152,808	291,328	429,848
合　計		860,000	908,808	1,047,328	1,185,848

重点事業　２

ロコモーショントレーニングの普及

加齢による運動器の衰え（ロコモティブシンドローム）
　簡単なトレーニングで予防　筋肉　関節　骨

要介護状態にならないようにする取り組み

［現状］Ｈ２４

運動器機能向上
トレーニング教室
（通所型）

→

［目標］Ｈ３０

ロコモーション
トレーニング
（サロン型・在宅型
中心に全市への普及）

年度別計画（ロコモの普及）

（単位：人、千円）

区　分	H26	H27	H28	H29
事業内容	普及啓発 ｽﾀｯﾌ養成 ﾓﾃﾞﾙ実施	普及啓発 全市展開	普及啓発 全市展開	普及啓発 全市展開
参加者数	400	2,500	5,000	10,000
事業費	5,220	40,560	40,560	40,560

関連事業

ボランティアポイント制度の導入

［目的・背景］

・元気な高齢者の新たな社会参加の仕組みづくり

・介護分野や福祉分野のボランティア活動の奨励

本　人　…　生きがいづくり、介護予防、地域貢献

受け手　…　ふれあい、楽しみ、在宅生活の継続、孤立感の解消

元気な高齢者 → 支える → 支援が必要な高齢者

年度別計画（ポイント制度）

（単位：人、千円）

区　分	H26	H27	H28	H29
事業内容	管理機関選定 登録・研修 ﾎﾟｲﾝﾄ付与	登録・研修 ﾎﾟｲﾝﾄ付与	登録・研修 ﾎﾟｲﾝﾄ付与	登録・研修 ﾎﾟｲﾝﾄ付与
登録者数	1,350	1,700	2,050	2,280
事業費	12,000	13,300	15,600	16,500

年度別計画（重点事業全体）

（単位：千円）

区　分		H26	H27	H28	H29
1 特別養護老人ホーム等の整備	整備	860,000	756,000	756,000	756,000
	給付	0	152,808	291,328	429,848
2 ロコモーショントレーニングの普及		5,220	40,560	40,560	40,560
[関連事業] ボランティアポイント制度の導入		12,000	13,300	15,600	16,500
合　計		877,220	962,668	1,103,488	1,242,908

Ⅲ 市単独大型給付事業の見直し

対象事業	① バス・タクシー券等の交付 ② 敬老祝金・祝品の贈呈 ③ 敬老会の補助
見直し期間	Ｈ２６～Ｈ２９（４年間） 計画的・段階的な見直し

見直し１　バス・タクシー券等の交付

交付単価の引き下げ

区　分	現　行	第1段階(H26)	最終形(H29)
対象年齢	70歳以上	→	--→
対象制限	所得制限 (200万円未満)	→	廃止前提 市民税非課税世帯限定を再検討
交付金額	6,000円	引き下げ 4,000円	--→
券　　種	7種類	→	--→

見直し試算（バス・タクシー券）

（単位：千円）

項　目	H26	H27	H28	H29
対象者数（人）	119,918	124,934	127,918	134,063
現行制度の事業費	543,409	566,139	579,661	607,507
見直し後の事業費（交付率94%、利用率85%）	見直し 383,258	399,290	408,826	見直し 118,128 市民税非課税世帯
比　較	▲160,151	▲166,849	▲170,835	▲489,379

見直し２　敬老祝金・祝品の贈呈

節目の年齢の整理　金品の整理

区　分	現　行	第1段階（H27）	最終形（H29）
８８歳到達者	祝金　３万円 祝品　菓子器 寿詞	祝金　引き下げ　１万円 祝品　菓子器	祝金　１万円 祝品　なし
９９歳到達者	祝金　５万円	祝金　引き下げ　３万円	※100歳に統一
１００歳到達者	祝品　煎茶詰合 額入寿詞	→	祝金　３万円 祝品　額入寿詞
101歳以上（毎年）	祝品　煎茶詰合 寿詞、風呂敷	祝品　廃　止	→

見直し試算（敬老祝金品）

（単位：千円）

項　目	H26	H27	H28	H29
対象者数（人）	5,022	5,342	5,521	5,736
現行制度の事業費	150,333	159,916	165,294	171,738
見直し後の事業費	150,333	見直し 63,606	65,749	見直し 55,070
比　較	0	▲96,310	▲99,545	▲116,668

見直し３　敬老会の補助

年齢引き上げ　単価引き下げの調整

区　分	現　行	第1段階（H26）	最終形（H28～H29）
対象年齢	75歳以上	関係機関等との調整	調整結果を踏まえて実施
補助金単価	2,000円		

見直し試算（敬老会補助）

（単位：千円）

項　目	H26	H27	H28	H29
対象者数（人）	107,600	114,000	115,200	117,800
現行制度の事業費	215,200	228,000	230,400	235,600
見直し後の事業費	調整 215,200	228,000	見直し —	見直し —
比　較	0	0	—	—

年度別見直し計画（全体）

対象事業	H26	H27	H28	H29
①バス・タクシー券等の交付	単価引下 4,000円	→	→	廃止前提 市民税非課税世帯限定を再検討
②敬老祝金・祝品の贈呈	→	88歳祝金引下 10,000円 99歳祝金引下 30,000円 101歳以上 祝品廃止	→	88歳祝金 10,000円 100歳祝金 30,000円 ＋額入寿詞
③敬老会の補助	関係機関等との調整	→	調整結果を踏まえた見直しの実施	

見直し試算額(全体)

(単位:千円)

項　目	H26	H27	H28	H29
①バス・タクシー券等の交付	見直し 383,258	399,290	408,826	見直し 118,128
②敬老祝金・祝品の贈呈	150,333	見直し 63,606	65,749	見直し 55,070
③敬老会の補助	調整 215,200	228,000	見直し 230,400	見直し 235,600
事務費等	14,176	14,176	14,176	14,176
計	762,967	705,072	719,151	422,974

重点事業と見直しのバランス

(単位:千円)

項　目			H26	H27	H28	H29
重点事業	事業費		877,220	962,668	1,103,488	1,242,908
		うち一般財源(a)	211,553	411,540	550,348	688,980
		うち市債	418,600	504,000	504,000	504,000
見直し効果	現行制度の事業費		923,118	968,231	989,531	1,029,021
	見直し後の事業費		762,967	705,072	719,151	422,974
	比較(効果)		▲160,151	▲263,159	▲270,380	▲606,047
		うち一般財源(b)	▲160,151	▲263,159	▲270,380	▲606,047
一般財源の比較　(a)-(b)			51,402	148,381	279,968	82,933

※市債は借金であり、長期にわたって元利償還の義務が生じる(70%の地方交付税措置あり)

第９号様式

区　協　議　会

<table>
<tr><td>区　　分</td><td colspan="5">□諮問事項　　□協議事項　　■報告事項</td></tr>
<tr><td>件　　名</td><td colspan="5">平成 25 年度地域力向上事業の中間報告について</td></tr>
<tr><td>事業の概要
（背景、経緯、
現状、課題等）</td><td colspan="5">地域力向上事業は、住みよい地域社会を実現するため、区民の参加と協働により区の特性を活かした事業や課題を解決する事業です。

○市民提案による住みよい地域づくり助成事業
団体の提案の基づき、市が公益上の必要性を認め、団体が自主的に取り組む事業に対し、市から補助金を交付することで、効果が期待できる事業

○区民活動・文化振興事業
地域の活性化や文化振興のため、市民協働の観点を取り入れて実施する事業

○区課題解決事業
区内の課題を解決するため、市民協働の観点を取り入れて実施する事業</td></tr>
<tr><td>対象の区協議会</td><td colspan="5">東区</td></tr>
<tr><td>内　　容</td><td colspan="5">○平成 25 年度の実施事業の中間報告
・助成事業　　6 件
・区民活動・文化振興事業　7 件
・区課題解決事業　　3 件</td></tr>
<tr><td>備　考
（答申・協議結果を得たい時期、今後の予定など）</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td>担当課</td><td>東区・区振興課</td><td>担当者</td><td>鈴木勝久・服部</td><td>電話</td><td>424-0115</td></tr>
</table>

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

平成25年度　地域力向上事業　中間報告

氏名	

【助成事業】

（円）

No.	事業名	点数	中間報告時	所管課	市執行額（補助金額）（予定額含む）
1	十湖翁ゆかりの自然と文化を楽習しよう	15	実施中	区振興課	100,000
2	遊休農地を利用してそば作りで地域の活性化	15	実施中	区振興課	249,000
3	有玉伝統文化継承事業（流鏑馬・獅子舞）	15	完了	区振興課	183,000
4	中野町煙火大会2013	19	完了	区振興課	2,000,000
5	大船渡市から学ぶ地域防災と大船渡市応援イベントの開催	17	完了	区振興課	605,000
6	『世界一、日本一ってすごい！浜松わくわく探検隊！』～ぽっぷハートつながり隊2013～	16	実施中	区振興課	395,000
				小計	3,532,000

【区民活動・文化振興事業】

（円）

No.	事業名	点数	中間報告時	所管課	市執行額（予定額含む）
1	東区俳句の里づくり事業	18	実施中	区振興課	2,500,000
2	第５回東区長杯キンボール大会	16	実施中	区民生活課	365,000
3	劇団たんぽぽ演劇公演	14	完了	区民生活課	974,175
4	『東区・家康公ゆかりの里』推進事業	18	実施中	区民生活課	1,500,000
5	東区地域福祉講演会	16	完了	社会福祉課	280,000
6	東区大型商業施設との連携事業	17	実施中	区振興課 社会福祉課 長寿保険課	145,402
7	東区市民映画音楽祭	18	実施中	区振興課	1,307,000
				小計	7,071,577

【区課題解決事業】

（円）

No.	事業名	点数	中間報告時	所管課	市執行額（予定額含む）
1	東区　交通安全声かけ運動 ～交通事故ワースト１脱出大作戦～	18	実施中	区振興課	1,932,000
2	健康力アップ　in　東区	16	完了	健康づくり課	297,685
3	中学生自転車危険予知体験教室	18	完了	区振興課	869,000
				小計	3,098,685
				合計	13,702,262

助成事業 No.1

所属名	区振興課
現　状	実施中

事業名	団体名
十湖翁ゆかりの自然と文化を楽習しよう	東区の自然と文化を残そう会

事業目的	地域住民との交流及び協働を通じて、次世代に自然と文化の再生・継続・定着に向けた醸成づくりをする。また、十湖池の名前にもなっている松島十湖翁について学び、「俳句の里　東区」をPRしていく。
対象	区民及び来訪者
内容	○十湖池探検会・収穫祭の開催(8月11日・10月13日) ・里池(十湖池)での水生動植物の観察体験等 ・里地(遊休農地)での野菜栽培、収穫体験等 ○毎月2回の環境整備活動(草刈や樹木の手入れ等) ○松島十湖翁ゆかりの里ウォーキングの開催(10月13日)
成果	・十湖池は、自由に立ち寄り、憩え、季節を感じられる環境となっている。 ・8月と10月の探検会・収穫祭では、各回40名程度の参加者があり、今年度は、地域の竹を使った竹馬づくりや、「松島十湖翁ゆかりの里ウォーキング」を新たに実施した。「松島十湖翁ゆかりの里ウォーキング」では、解説者による句碑に詠まれている俳句の説明もあり、身近な地域資源を学べる内容であった。 ・探検会等のポスター作成やイベント当日のボランティア等に東高校生徒の協力を得て実施し、幅広い年代の交流ができた。

事業費	総事業費	200,000 円	補助金額	100,000 円

評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1)東区らしさ (住みよい地域づくり)	1	2	3	(4)	5
(2)補助事業の公益性	1	2	3	(4)	5
(3)行政関与・補助の必要性	1	2	3	(4)	5
(4)補助の効果	1	2	(3)	4	5
合　計	15 点				

地域力向上事業実施年度	22	23	(24)	(25)	※23年度は100夢プロジェクトで実施

総合評価

・十湖池での水生動植物観察や遊休農地での野菜栽培・収穫体験等を通して、地域の資源環境を守り、学ぶ事業であり、地域の特性を活かしたまちづくり事業である。
・また、「松島十湖翁ゆかりの里ウォーキング」という新たな内容を加えたこの事業は、「東区俳句の里づくり事業」のPRにもなる。
・地域の自然に対する関心が高まり、十湖池の活動で広がった人のつながりが継続・拡大していくことを期待する。

区協議会

助成事業 No.2

所属名	区振興課
現　状	実施中

事業名	団体名
遊休農地を利用してそば作りで地域の活性化	地域の食の自給率を上げる会

事業目的	色々な事情で農地を管理できないことは、地域にとって決して好ましいことではない。これらの農地を借りて、地域の有志の協力でそばを栽培し、北遠地区の方々を交えてそば打ちを行い、各種団体との交流も図りたい。
対象	区民
内容	6月頃から遊休農地を耕作し、作物のできる状態にし、8～9月に種をまき、11月頃収穫。その後、学校や各種団体の協力を得る中で、そば打ちの体験会を実施する。そば打ちの講師を北遠の団体等に依頼して、北遠との交流も図っていく。
成果	・6月に農地を耕作、9月初に種まきし、11月中旬に収穫。12月にそば製粉。 今後、1月28日に中ノ町小学校、2月12日に天竜協働センターでそば打ち体験会を開催予定。 ・耕作面積：4,500㎡。

事業費	総事業費	498,000 円	補助金額	249,000 円

評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1)東区らしさ（住みよい地域づくり）	1	2	3	(4)	5
(2)補助事業の公益性	1	2	3	(4)	5
(3)行政関与・補助の必要性	1	2	(3)	4	5
(4)補助の効果	1	2	3	(4)	5
合　計	15 点				

地域力向上事業実施年度	(22) 23 (24) (25) ※23年度は100夢プロジェクトで実施

総合評価

・遊休農地を利用して、そばを栽培・収穫した後、小学生や地域住民等とそば打ち体験を通じて交流する内容であり、地域コミュニティづくり事業である。
・そば打ち体験会など、一般参加ができる範囲で、多くの方がこの事業に参加し、より広く交流が進むことを期待する。

区協議会

助成事業 No.3

所属名	区振興課
現 状	完了

事業名	団体名
有玉伝統文化継承事業（流鏑馬・獅子舞）	有玉伝統文化継承事業流鏑馬実行委員会

事業目的	徳川家康公から有玉の高林家に馬を寄進されたことから、流鏑馬が行われるようになった。獅子舞を含め、400年の歴史を引き継ぐ伝統文化として、より多くの市民に知っていただきたい。今後も区民の交流や魅力ある区づくり、まちづくりに寄与するために活動する。
対象	区民及び来訪者
内容	流鏑馬、獅子舞の伝統行事の実施。 併せて、有玉小と積志小の児童に、流鏑馬等、伝統文化に関する絵をかいてもらい、境内に展示する。
成果	実施日：平成25年10月13日（日） 会場：有玉南町　有玉神社 来場者：2,000名以上 《流鏑馬》一の馬、二の馬、三の馬と3頭の馬を用いる元来の実施形態で、一番の矢から三番の矢を的に向かって交互に射ち、勝敗を競った。 《獅子舞》獅子舞の笛や太鼓は、有玉小学校児童15名も練習し、小学生による獅子舞も披露した。 《絵画展》有玉小学校・積志小学校の児童250名に流鏑馬等、伝統文化に関する絵をかいてもらい、そのうち72枚を選出して会場に掲示した。

事業費	総事業費	369,689 円	補助金額	183,000 円

評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1)東区らしさ（住みよい地域づくり）	1	2	3	(4)	5
(2)補助事業の公益性	1	2	3	(4)	5
(3)行政関与・補助の必要性	1	2	(3)	4	5
(4)補助の効果	1	2	3	(4)	5
合　計	15 点				

地域力向上事業実施年度	(22) (23) (24) (25)

総合評価

・徳川家康公に由来する伝統文化：流鏑馬と獅子舞等を組み合わせた有玉地域の伝統文化を次世代に伝えるべく実施していくことは、文化振興事業であり、地域コミュニティづくり事業でもある。
・伝統文化に関する児童の絵画展など、昨年度からバージョンアップした内容で実施され、複数の手段で、地域文化に触れ、再認識するきっかけづくりとなる事業である。

区協議会

助成事業 No.4

所属名	区振興課
現 状	完了

事業名	団体名
中野町煙火大会2013	中野町煙火大会実行委員会

事業目的

・地域の夏の風物詩としての煙火大会に、よさこい踊り、スポーツ大会等を組み合わせた地域の一大イベントとして定着・発展させる。
・地域の親睦を図り、明るく住みよい地域づくりを行う。
・次世代を担う若者の発掘を進める。
・東区民のふれあいの場を創出する。

対象

区民及び来訪者

内容

内容	日	会場	参 加
輪投げ大会	8月2日	天竜協働センター	7チーム 84人+役員
グラウンドゴルフ大会	8月5日	天竜川河川敷	7チーム 84人+役員
少年少女サッカーフェスティバル	8月10・11日	中ノ町小学校	8チーム 180人
よさこい踊り	8月14日	天竜川河川敷	若者有志
煙火大会	8月14日	天竜川河川敷	観客 約4万人

成果

・輪投げ、グラウンドゴルフ大会も、夏の高齢者のイベントとして定着してきており、中ノ町地区だけでなく、東区の他地区からも毎年楽しみにしているという声が聞かれるようになった。
・少年少女サッカーフェスティバルは、今年度から東区区長杯争奪 少年少女サッカーフェスティバルとして、東区全域から参加チームを募集し、2日間にかけたものとなった。また、プロフットサルチーム「アグレミーナ浜松」の協力を得て、サッカー教室も実施。子どもたちに大変人気であった。

事業費

総事業費	13,614,566 円	補助金額	2,000,000 円

評価

評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1)東区らしさ (住みよい地域づくり)	1	2	3	(4)	5
(2)補助事業の公益性	1	2	3	4	(5)
(3)行政関与・補助の必要性	1	2	3	4	(5)
(4)補助の効果	1	2	3	4	(5)
合　計	19 点				

地域力向上事業実施年度

(22)　(23)　(24)　(25)

総合評価

・H24からグラウンドゴルフ大会の規模拡張、そしてH25から少年少女サッカー大会を東区全域を対象とした東区長杯として実施するなど、東区全体のイベントとして定着している。
・H25は、プロフットサルチーム「アグレミーナ浜松」にも協力いただく中で、東区区長杯争奪少年少女サッカーフェスティバルも開催し、交流を広めた。
・これらのイベントは、地域の方々の力を終結して実施しており、中ノ町地区にとどまらず、東区の活性化にも貢献した事業である。

区協議会

助成事業 No.5

所属名	区振興課
現 状	完了

事業名	団体名
大船渡市から学ぶ地域防災と大船渡市応援イベントの開催	大船渡応援イベント委員会

事業目的	東日本大震災の被災地である大船渡市と交流し、三連動の地震が想定される本地域における地域防災力の強化に活かす。併せて、浜松市が支援する大船渡市の復興支援イベントを行う。
対象	区民及び来訪者
内容	・防災講座　大船渡市立第一中学校生徒による震災体験発表。 災害ボランティアリーダーと区役所とで防災クイズや建物の倒壊実験等を実施。 ・写真展　大船渡市の被災・復興写真を展示。 ・大船渡市復興支援　さんま炭火焼、つみれ汁、おにぎりの無料配布等。
成果	・実施日：平成25年10月13日（日） ・会場：西ケ崎町　泰月院 ・地域住民200名程度がボランティアスタッフとして参加し、住民同士のつながりが築けた。 ・当日は約2,000名が来場。防災講座や大船渡市の被災・復興写真展で災害への備えの思いを新たにし、そしてさんまの炭火焼等を味わっていた。 ・大船渡市立第一中学校と中郡中学校生徒、地域住民との交流の場ともなった。

事業費	総事業費	1,210,367 円	補助金額	605,000 円

評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1)東区らしさ（住みよい地域づくり）	1	2	3	(4)	5
(2)補助事業の公益性	1	2	3	4	(5)
(3)行政関与・補助の必要性	1	2	3	(4)	5
(4)補助の効果	1	2	3	(4)	5
合　計	17 点				

地域力向上事業実施年度	22　23　(24)　(25)

総合評価

・地域の防災力の強化と大船渡市の復興支援を目的として実施する内容であり、地域コミュニティづくり事業、安全安心な地域づくり事業である。
・今年度で2回目の開催となるが、地域の多くのみなさんがボランティアとして協力していることや、昨年度に始まった大船渡市との交流が引き続き行われていること等、地域の絆やつながりの強化が伺える。これらが地域防災力の向上に役立つことを期待する。

区協議会

助成事業 №6

所属名	区振興課
現　状	実施中

事業名	団体名
『世界一、日本一ってすごい！浜松わくわく探検隊！』～ぽっぷハートつながり隊2013～	一般社団法人ぽっぷちゃいるど

事業目的	浜松市には、日本一、世界一の企業がある。次代を担う子どもたちに、「ものづくりのまち浜松」の技術を体験してもらい、仕事の大切さや面白さ、やりがいを感じてもらうとともに、「働く」ことについてもより身近に感じ、興味をもってもらうことで、地元をもっと知ってもらい、好きになってもらいたい。
対象	市内小学3～6年生とその保護者
内容	小学3～6年生の親子が地域の日本一、世界一の企業を訪問し、見学にとどまらない、体験型の企業訪問をする。子どもたちは小グループを作って行動、体験してもらい、「チームワークの大切さ」を実感してもらう。また、親子で参加して、地域の産業の歴史やよさを親子共通の話題としてもらい、親子のコミュニケーションの機会を提供する。
成果	・実施日：平成25年7月29日（月） ・会　場：長上協働センターの体育館等 ・参加者：小学3年生～6年生の親子　60組120名 探検した「世界一、日本一」の企業 ・カツヤマファインテック株式会社　・三立製菓株式会社 ・株式会社丸八真綿　・ローランド株式会社

事業費	総事業費	791,000 円	補助金額	395,000 円

評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1)東区らしさ（住みよい地域づくり）	1	2	3	(4)	5
(2)補助事業の公益性	1	2	3	(4)	5
(3)行政関与・補助の必要性	1	2	3	(4)	5
(4)補助の効果	1	2	3	(4)	5
合　計	16 点				

地域力向上事業実施年度	22	23	24	(25)

総合評価

・子どもたちが、東区で浜松市の日本一、世界一の企業を訪問し、「ものづくりのまち浜松」を実際に体験しながら企業見学する内容であり、地域の特性を活かした事業である。
・参加した子どもたちは、目をキラキラと輝かせながら、チームメートと協力し合って体験や見学をしており、楽しみながら「ものづくり」の素晴らしさや大変さを実感していた。
・地域にある「日本一、世界一」の企業を探検した経験をもとに、地域の魅力を再発見するとともに、次世代を担う子どもたちの成長の糧となることを期待する。

区協議会

区民活動・文化振興事業 No.1

所属名	区振興課
現　状	実施中

事業名
東区俳句の里づくり事業

事業目的	著名な俳人を輩出し、多くの句碑が現存している東区では、俳句に親しみ、愛好する区民が多い。特に、松島十湖が地域発展に貢献していることから、俳句には親しみが深い。そこで、俳句を地域活性化事業のテーマとし、子どもから大人まで俳句に触れ親しむ機会を創出することで、文化の振興、世代間交流、全国に向けた情報発信を図る。
対象	市内小中学生、県内高校生、一般の部は全国を対象。
内容	【俳句大会】 小学校、中学校、高校、一般の部門を設け、浜松市内をはじめ、全国から俳句を募集し、審査のうえ、入選作品 を表彰する。 【小中高校俳句講座】 東区内の全小中高校で、俳句の作り方や楽しみ方を、市内俳句愛好家を講師に開催。 【俳句啓発イベント】 俳句活動をしている著名人を講師に迎え、俳句の楽しさやすばらしさを講演等で伝えたり、俳句にゆかりのある地を巡るツアーを開催するなど俳句文化を啓発し、俳句を愛好する人口の拡大を図る。 【作品活用事業】 今までの入選作品をはじめ、応募作品をホームページ等により広く公開する。特に入選作品は、各種関連事業等でパネル展示や印刷物への掲載を行い、数多くの発表機会を創出する。
成果	【俳句大会】 小学校の部(5,210句)、中学校の部(4,030句)、高校の部(2,652句)、一般の部(1,649句)で合計13,541句(5,139人)の応募があり、審査のうえ、入選作品を表彰する。(前年比△3,631句減)表彰式は平成26年2月9日(日)予定 【小中高校俳句講座】 東区内の全小中高校(20校)で、俳句の作り方や楽しみ方を、市内俳句愛好家を講師に82回の講座を開催し、2,868人が受講した。(前年比24回増、662人増) 【俳句啓発イベント】 ○俳句講演会 俳句活動をしている著名人として、小児科医である「細谷亮太」氏を講師に迎え、いのちと俳句と題して俳句の楽しさやすばらしさを伝える講演会を開催した。 開催日程:平成25年8月25日(日)14:00～16:00 開催会場:アクトシティ浜松　コングレスセンター41会議室 集客人数:299人 ○句碑めぐりバスツアー 松島十湖や俳句にゆかりのある地を巡るツアーを開催し、俳句文化を啓発するとともに、俳句を愛好する人口の拡大を図った。 開催日程:平成25年11月9日(土)9:00～16:30 開催行程:東区役所～十湖百句塚～松岳院(東区)～気賀関所(北区)～長楽寺(北区)～姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館(北区)～細江神社(北区)～文学の丘(北区)～東区役所 参加人数:30人 講師:西原勲、観光歴史ボランティア2人 【作品活用事業】 今までの入選作品をはじめ、応募作品をホームページで紹介
事業費	決算額または執行見込み額　2,500,000　円

評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1)東区らしさ (地域課題・地域資源)	1	2	3	4	(5)
(2)事業の公益性	1	2	3	4	(5)
(3)事業の効果	1	2	3	(4)	5
(4)経済性 (費用対効果)	1	2	3	(4)	5
合　計	18　点				

総合評価

東区独自の地域資源として俳句が定着を始めた。
小中高校における俳句講座は、継続していることによる俳句人口の増加や俳句作品のレベル向上に効果をあげてきている。
本事業で松島十湖を取り上げて、地域の偉人を紹介しているが、今後は、東区を超えて浜松市内に東区の偉人を紹介していく事業計画を検討する。

区協議会

区民活動・文化振興事業 No.2

所属名	区民生活課
現　状	実施中

事業名
第5回東区長杯キンボール大会

事業目的	区民の大人から子供まで誰もが参加でき、手軽に楽しめるキンボールの普及を通じて、区民のスポーツ振興及び各地域間の親睦を図ることを目的とする。
対象	東区民及び他区民の大人から子どもまで
内容	・第5回東区長杯キンボール大会の開催 ・キンボール教室の開催 ・キンボール審判講習会の開催
成果	・第5回東区長杯キンボール大会を平成26年3月2日(日)に浜松アリーナで開催する準備を進めている。 ・キンボール教室(平成25年7月から平成26年2月の期間)を開催することにより、多くの区民が参加することによってキンボールスポーツの普及が行われた。 ・第5回大会に向けた審判技術の向上のための審判講習会を3回開催する予定である。
事業費	決算額または執行見込み額　365,000　円

評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1)東区らしさ (地域課題・地域資源)	1	2	3	(4)	5
(2)事業の公益性	1	2	3	(4)	5
(3)事業の効果	1	2	3	(4)	5
(4)経済性 (費用対効果)	1	2	3	(4)	5
合　計	16　点				

総合評価

・平成21年度からの継続事業であり、大会や教室を重ねるごとに、参加者も増加傾向にある。
・他区からの参加者も増えつつあり、キンボール競技が市域に浸透しつつあるので、他区民との交流・親睦を図り、東区発信のスポーツとして成長させる。

区協議会

区民活動・文化振興事業 No.3

所属名	区民生活課
現 状	完了

事業名
劇団たんぽぽ演劇公演

事業目的	東区に本拠地をおく「劇団たんぽぽ」の生の演劇を鑑賞することは、文化振興に役立つことはもちろん、年長児・小学生とその家族及び高齢者を主な対象者とすることにより、演劇を通して子どもたちの情操教育と高齢者とのふれあいの場となるため。
対象	浜松市在住の方
内容	劇団たんぽぽの演劇公演を開催した。 演目:「ゆきと鬼んべ」 公演日時:11月30日(土) 午前10時30分～ 午後1時30分～ 計2回公演 会場:長上協働センター附設体育館
成果	来場者:午前10時30分の部 130人 午後1時30分の部 110人 募集人員を満たさなかったが、子供専用観劇ゾーンの設置や高齢者を対象としたイス席ゾーンを設けることにより、家族が楽しんで観劇でき、共有の話題また感動を与えられることができた。
事業費	決算額または執行見込み額 974,175 円

評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1)東区らしさ (地域課題・地域資源)	1	2	3	(4)	5
(2)事業の公益性	1	2	3	(4)	5
(3)事業の効果	1	2	(3)	4	5
(4)経済性 (費用対効果)	1	2	(3)	4	5
合 計	14 点				

総合評価

・東区の地域資源を活用した事業として、平成22年度から継続してきた事業である。
・開催場所の選定については、舞台設営可能施設が東区内では、協働センター体育館に限定されてしまう。
・昨年度まで入場料無料にて事業を実施してきたが、平成25年度予算要求における「事業見直しの視点(3)適正な受益者負担」の観点から、入場料300円(4歳以上有料)を徴収する方式に変更して事業を行ったが、集客数に結びつくPR方法に苦慮した。

区協議会

区民活動・文化振興事業 No.4

所属名	区民生活課
現　状	実施中

事業名
『東区・家康公ゆかりの里』推進事業

事業目的	浜松市におけるシティプロモーションのテーマである「出世の街　浜松」の発信に寄与し、東区内の「家康公ゆかりの里」推進事業の認知度の向上と地域住民の文化的な資質の向上及び交流人口の増加、地域コミュニティ意識の醸成を目的とする。
対象	浜松市民　浜松市外の来浜者
内容	・歴史講演会の開催（平成25年10月21日　19:00～えんてつホール） ・鷹狩りタウンウォークイベントの開催（平成25年10月12・13・14日　会場：イオンモール浜松市野） ・鷹狩りタウンウォークの開催（平成25年10月15日～平成26年2月28日） 　家康公の鷹狩りにちなみ、地域資源約50か所に解説板を設置されている東区内の寺社や史跡などの散策するもの。 ・「家康公ゆかりの里」資源解説板の設置（3基設置予定）
成果	・磯田道史氏歴史講演会を開催し、入場者数も400名を超える方々に聴講いただき、好評を得た。 ・東区内の史跡等を散策する「鷹狩りタウンウォーク」のオープニングセレモニーをイオン市野店との連携により開催した。セレモニーでは劇団砂喰社、歴女隊、浜松東高校ダンス部によるステージイベントを行い、併せて遠州食品加工業協同組合協力の物産展や「旧鈴木家」の収蔵物の展示を実施することにより集客効果もあった。 ・鷹狩りタウンウォークイベント開催時に、鷹狩りタウンウォークに使用する「鷹狩りの書」を2,000部を配布。イベント効果や新聞報道により、残余なく配布ができた。
事業費	決算額または執行見込み額　1,500,000　円

評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1)東区らしさ（地域課題・地域資源）	1	2	3	4	(5)
(2)事業の公益性	1	2	3	4	(5)
(3)事業の効果	1	2	3	(4)	5
(4)経済性（費用対効果）	1	2	3	(4)	5
合　計	18　点				

総合評価

初年度は積志地区を中心に、今年度は長上地区にも事業を展開したことで、「東区・家康公ゆかりの里」というキーワードでのまちづくりの機運が高められた。
今後は、民間事業者や市民活動団体との連携や、地域住民をさらに巻き込んだ事業を展開し、家康公ゆかりの里というテーマをさらに強調したまちづくりを行っていく。
活動地域についても、他の地区へも広げていく。また、東区で行なわれている他の事業との連携を図りつつ、区全体を盛り上げていく事業へと発展させていく。

区協議会

区民活動・文化振興事業　No.5

所属名	社会福祉課
現　状	完了

事業名
東区地域福祉講演会

事業目的	災害時に備え、自治会、自主防、福祉施設、民生委員・児童委員協議会及び社会福祉協議会等の地域の方々がどのような準備をしておく必要があるかを学び、安心して暮し続けられる町づくりに資することを目的として開催する。
対象	自治会、自主防、福祉施設、民生委員・児童委員協議会、社会福祉協議会等
内容	群馬大学理工学研究院教授・広域首都圏防災研究センター長を招き、「想定を超える災害にどう向かいあうか～東日本大震災からの教訓～」をテーマに講演会を開催した。
成果	開催日：平成25年9月21日（土）　午後1時30分～午後3時30分 会場：浜松市総合産業展示館北館　4階　1号ホール 参加者：自治会、自主防、福祉施設、民生委員・児童委員協議会、社会福祉協議会、一般住民等335名 災害に強い地域社会をつくる前提として、個人レベルを含めた日頃からの「心構え」の重要性を学ぶことができた。
事業費	決算額または執行見込み額　280,000　円

評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1)東区らしさ（地域課題・地域資源）	1	2	3	(4)	5
(2)事業の公益性	1	2	3	4	(5)
(3)事業の効果	1	2	3	(4)	5
(4)経済性（費用対効果）	1	2	(3)	4	5
合　計	16　点				

総合評価

平成20年度から、「地域福祉講演会事業」として継続して実施してきた。
今年度の講演会開催時に実施したアンケートによると、97.5%の方から、「大変良かった」「良かった」との回答をいただいた。
（アンケート回収枚数206枚）
平成26年度以降についても、事業の認知度を向上させるとともに、更に関係団体との連携を強化させ、地域における身近な課題をテーマとした講演会を開催したい。

区協議会

区民活動・文化振興事業 No.6

所属名	区振興課・社会福祉課・長寿保険課

現　状	実施中

事業名
東区大型商業施設との連携事業

事業目的	浜松市や東区が推進する事業や地域住民の活動をPRする場として活用することにより、多くの市民にPRする。
対象	市民
内容	①家庭ごみの新ルールPR展（区振興課） ②防災啓発・災害支援活動のPR展（区振興課） ③おじいちゃん・おばあちゃんに贈る作品展（長寿保険課） 　実施内容　東区内の小学生や園児の絵画等の作品をメッセージ入りで展示する。 ④障害福祉体験、介護用品のPR展（社会福祉課） 　実施内容　盲導犬のデモンストレーション、盲導犬による歩行体験、障害者用の室内玩具等の展示
成果	※会場は、いずれもイオンモール浜松市野 ①実施日：平成25年5月14・15日 　平成25年度からのごみの出し方のルール統一に関したPRキャンペーンの実施。 ②実施日：平成25年8月15・16日 　東区版避難行動計画「守れ いのち!」のPRと起震車体験。 ③実施日：平成25年9月11日～17日 　和田小学校・和田東小学校児童190名の絵画とメッセージを展示。 ④実施日：平成25年8月8日 　盲導犬のデモンストレーションなどを通して、視覚障害者への接し方等をPR。参加者100名。
事業費	決算額または執行見込み額　145,402　円　区振興課：予算なし 社会福祉課：92,000円、長寿保険課：53,402円

評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1)東区らしさ（地域課題・地域資源）	1	2	3	④	5
(2)事業の公益性	1	2	3	④	5
(3)事業の効果	1	2	3	④	5
(4)経済性（費用対効果）	1	2	3	4	⑤
合　計	17　点				

総合評価

①②
・集客力のある大型商業施設で実施したことにより、タイムリーな内容を多くの住民にPRすることができた。
③
・敬老の日を中心として、児童がかいた絵画とメッセージを展示することで、敬老の日の意識高揚を図ることができた。
④
・障害福祉サービス施設職員の説明と盲導犬のデモンストレーションにより、視覚障害者への接し方についてPRすることができた。

区協議会

区民活動・文化振興事業　No.7

所属名	区振興課
現　状	実施中

事業名
東区市民映画音楽祭

事業目的	東区初の音楽分野の地域資源を発掘・活用した「映画音楽祭」を実施し、区民主体の地域づくりを実践するとともに、実行委員会による運営により地域の市民力を発揮・育成する機会とする。 また、老若男女が親しめる映画音楽をキーワードとして実施し、東区の将来像である「人と人 心ふれあう 東区」を具現化させるよう、人の和や地域の絆を構築する。
対象	東区民及び浜松市民
内容	「東区市民映画音楽祭」と題し、中学校吹奏楽部等地元演奏団体や第一線で活躍されている音楽家・演奏家等による映画音楽祭を開催。プレコンサート2回とメインコンサート1回を開催。
成果	【プレコンサート】 ○1回目 「マリンバとマンドリンが奏でる映画音楽の世界」 開催日程：平成25年9月29日（日）　開催会場：東区役所　市民ホール（1階） 来場者等：63名 ○2回目 「東区ゆかりの演奏家とハープが奏でる映画音楽の調べ」 開催日程：平成25年10月14日（水）　開催会場：イオンモール浜松市野　シンフォニーコート 来場者等：第1公演　200名　第2公演　150名 【メインコンサート】 開催日程：平成25年10月27日（日）　開催会場：浜松市立与進中学校　体育館 来場者等：500名 第1部 与進中学校・笠井中学校など地元音楽演奏団体による演奏 第2部 浜松交響楽団による市内最高レベルの演奏 第3部 東区出身の作曲家：村松崇継氏による演奏
事業費	決算額または執行見込み額　1,307,000　円

評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1)東区らしさ（地域課題・地域資源）	1	2	3	4	(5)
(2)事業の公益性	1	2	3	4	(5)
(3)事業の効果	1	2	3	(4)	5
(4)経済性（費用対効果）	1	2	3	(4)	5
合　計	18　点				

総合評価

音楽コンサートの開催により、事業目的を達成する企画である。
今後は、映画音楽をより深く探るため、映画関係者のかかわりや、映画上映などの企画を盛り込むことで、より多くの参加者や音楽の新しい親しみ方などを理解してもらうことも効果とする。
そのためには、村松崇継氏には、今後も本事業において協力をいただき、ゆかりの芸術家として、また、やらまいか大使として浜松市のシティプロモーションを積極的に行っていただくとともに、出身地に対する事業協力により、郷土愛などを地域住民に伝えていく。

区協議会

区課題解決事業 No.1

所属名	区振興課
現　状	実施中

事業名
東区　交通安全声かけ運動　～交通事故ワースト１脱出大作戦～

事業目的	交通事故の件数を減少させ、政令指定都市における交通事故件数ワーストから脱出するため、交通事故防止に関する啓発事業を展開する。
対象	東区民
内容	○東区交通安全フェアの開催 ○交通安全サポーターズ倶楽部等、交通安全・交通事故削減に関する意識啓発の実施
成果	○東区交通安全フェア 開催日程：平成25年12月19日（木）13:30～15:30 開催内容：各種シミュレーターを用いた体験型交通安全教室や啓発品配布等のキャンペーン開催（参加者：300人） ○交通安全サポーターズ倶楽部 開催内容：加入者に対し、反射材、マグネットステッカーを配布し、交通安全や交通事故削減に関する意識の高揚を図ることができた。（H25加入者数：403人、H24まで加入者数5,316人） また、コンビニ等、商業施設の協力を得て、来店者に対して交通安全を呼びかけ、街頭広報などに協力を得た。 春・夏・秋・年末における交通安全運動実施中の店内放送の実施。（4回×10日程度） 交通死亡事故多発警報発令に伴う店内放送の実施。（3回×5日程度）
事業費	決算額または執行見込み額　1,932,000　円

評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1)東区らしさ（地域課題・地域資源）	1	2	3	4	(5)
(2)事業の公益性	1	2	3	4	(5)
(3)事業の効果	1	2	3	(4)	5
(4)経済性（費用対効果）	1	2	3	(4)	5
合　計	18　点				

総合評価

啓発事業としては、今までの継続により、交通安全に関する意識高揚を図ることが出来ていると思われる。自治会や地域のボランティアが積極的に活動していることから、事業のある程度の成果が表れている。
交通安全フェアの開催による集客型事業は、交通安全運動期間の周知を合わせ、事業効果が高い。サポーターズ倶楽部については、登録者への周知方法を検討し、登録者の活用を検討していく。

区協議会

区課題解決事業 No.2

所属名	健康づくり課
現　状	完了

事業名
健康力アップ in　東区

事業目的	健康づくりの意識の向上を図り、区民の健やかな生活の支援を行う。
対象	東区民
内容	【開催場所と実施日】 区内食品関連事業者　3店舗で実施 イトーヨーカドー　浜松宮竹店　6月19日(水) マックスバリュ浜松和田店　6月24日(月) イオン浜松市野店　6月29日(土) 【実施内容】 食生活、口腔衛生、運動といった生活習慣が大切であることを、区民が楽しみながら健康づくりの情報を提供できるようなイベントの実施。 ①野菜350グラム当てようクイズ　②子供向け野菜クイズ ③健康ウォークスタンプラリー　④歯科クイズ ⑤健康に関する情報のチラシを配布　⑥食育ポスター優秀作品提示 ⑦健康パネルやPOP等で健康情報の掲示　⑧アンケート調査
成果	店舗との協働で、一般市民に対し、健康保持増進や生活習慣病予防について広く啓発することができた。 イトーヨーカドー浜松宮竹店　6月19日(水)　300人 マックスバリュ浜松和田店　6月24日(月)　118人 イオン浜松市野店　6月29日(土)　309人　計　727人
事業費	決算額または執行見込み額　297,685　円

評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1)東区らしさ (地域課題・地域資源)	1	2	3	(4)	5
(2)事業の公益性	1	2	3	(4)	5
(3)事業の効果	1	2	3	(4)	5
(4)経済性 (費用対効果)	1	2	3	(4)	5
合　計	16　点				

総合評価

大型店舗と協働で取り組むことで、広く一般市民に対し健康づくりの普及啓発を実施することができた。
実施にあたり、店舗との連絡調整が大変であったが、クイズの景品の提供など、限られた予算と人工の中で、広く市民に興味をもって参加していただくことができた。
今後も生活習慣病予防の対策のためにも、市民に対し地道に普及啓発を行い、継続的に参加してもらえるよう、店舗等と協働で魅力ある事業内容の検討をしながら引き続き実施していきたい。

区協議会

区課題解決事業 No.3

所属名	区振興課
現 状	完了

事業名
中学生自転車危険予知体験教室

事業目的	登下校を含め、日常生活における自転車運転のマナーの悪さが目立つ中高生の意識を改善させ、交通事故削減を図る。
対象	東区内全中学生
内容	実施内容:自転車交通事故の再現スタント、その解説 車の死角の体験 参加者:各中学校の全校生徒、周辺住民
成果	○11/14与進中開催: 全校生徒約650人、教員約30人、自治会関係者など住民約10人、合計約690人が参加。 ○12/6笠井中開催: 全校生徒約420人、教員約20人、自治会関係者など住民約20人、合計約460人が参加。 ○与進中全生徒へのアンケート結果では、「ためになった ・ ためにならなかった ・ どちらとも言えない」のうち、5人が「ためにならなかった」と回答、8人が「どちらとも言えない」と回答、残り98%が「ためになった」と回答。 ○笠井中全生徒へのアンケート結果では、2人が「どちらとも言えない」と回答、残り99%が「ためになった」と回答。 ○「スタントマンでなければ、死んでしまうものを間近で見たから。」(与進中 3年男子) ○「事故を間近で見て、すごく怖かったから。いつもは事故なんて起きないとか思ってたけど、今日見て、事故の痛さとか怖さとかすごくわかったから。」(笠井中 2年女子)
事業費	決算額または執行見込み額 869,000 円

評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1)東区らしさ (地域課題・地域資源)	1	2	3	(4)	5
(2)事業の公益性	1	2	3	(4)	5
(3)事業の効果	1	2	3	4	(5)
(4)経済性 (費用対効果)	1	2	3	4	(5)
合 計	18 点				

総合評価

○開催した2校の全生徒に対するアンケートの結果、98%が「ためになった」と回答している。
○「常々、生徒の自転車の乗り方を心配していますので、今日の教室が本当にありがたかったです。言葉や映像で説明してもピンとこない、わがクラスの生徒たち。でも、今日の演技は、息をのんで見ていました。本当によかったと思います。迫真の演技をありがとうございました。」(笠井中 発達支援学級担任)
○頭で理解させるのではなく、感覚的に「恐怖」を感じさせて、事故を未然に防止するねらいであり、アンケートの結果を見ても、これ以上の抑止効果を期待できる交通安全教室は、他にないと考える。
○東京からプロのスタントマンが来るため、1回あたり、40分の教室で、434,500円の費用がかかるが、実演は、まさにプロによる迫真のものであり、見た者の心に深く長く刻みこまれる抑止効果を考えると、決して高いものではないと考える。
○こうしたことから、今後も引き続き、教室を開催していくべきであると考える。

区協議会

第5回交通安全委員会　議事概要

日　時　平成25年12月6日（金）10:00～11:30
会　場　東区役所　33会議室
出席者　市川千次、今宿康一、小川早苗、加藤ゆき子、鈴木康弘、玉木澄男、田村滋治、米山英二（50音順・敬称略）
森茂雄(東警察署交通第一課)、菊池渉（区振興課長）、鈴木敏（区振興課長補佐）
事務局　中田希（区振興課）

1　年末の交通安全県民運動で配布するチラシについて
（協議内容）
12月15日(日)～31日（火）まで、年末の交通安全県民運動期間であり、各地で交通安全の啓発活動が実施されるので、自転車の通行ルールの変更についてのチラシを作成し周知を行う。チラシの内容について協議を行った。
また、チラシは啓発活動での配布のほかに、自治会連合会や各自治会、配布委員の方に協力をしていただき、東区内の全戸に対して回覧で周知を行うこととした。

・ 罰則の表記の方法について、「3月」から「3か月」に修正する。
「3月」が法律的には正しい表現であるが、一般的には3か月の方が分かりやすいので、罰則規定の表現を「3か月」に統一する。
・「危険を感じたら自転車を降りて押して歩きましょう。」に下線を引き強調する。
・ 新年になって見る人もいるので、通行ルールの改正日を「12月1日」から「平成25年12月1日」に修正。

2　活動日について
平成25年12月16日（月）午前7時20分～8時10分
年末の全国交通安全運動街頭広報（流通元町）
交通安全委員を含め、およそ100人が参加。
のぼり旗を持って、交通安全の街頭広報を行った。

平成25年12月19日(木)　午後1時30分～3時30分
東区交通安全フェア2013（イオンモール浜松市野）
およそ300人の集客。
イベント時にチラシや交通安全の啓発品を配布し、啓発活動を行った。

平成２６年１月１４日

報 道 発 表

浜松市 市民部 市民協働・地域政策課
地域政策グループ
℡ 053-457-2243　担当：中谷

浜松市

区協議会の開催日程（１月）について

区協議会が、次のとおり開催されます。

協議会名	回数	日 時	場 所	会議内容（予定）	傍聴定員	問合先
中区協議会	第9回	1月24日（金） 13時30分～	浜松市役所 2階　21会議室	・（報告）今後における高齢者福祉施策のあり方について③ ・地域課題について ・その他	6人程度 （先着順）	中区役所 区振興課 TEL:457-2210
東区協議会	第10回	1月27日（月） 13時30分～	東区役所 3階　31・32会議室	・（協議）東区協議会推薦会の報告について ・（報告）今後における高齢者福祉施策のあり方について③ ・（報告）地域力向上事業の中間評価について ・地域課題について ・その他	10人程度 （先着順）	東区役所 区振興課 TEL:424-0115
西区協議会	第9回	1月29日（水） 13時30分～	西区役所 3階　大会議室	・（報告）今後における高齢者福祉施策のあり方について③ ・（協議）西区協議会委員の推薦について ・地域課題について ・その他	5人 （先着順）	西区役所 区振興課 TEL:597-1112
南区協議会	第10回	1月31日（金） 14時～14時30分の開始予定 ※開会前に防潮堤の視察を実施	南区役所 3階　大会議室	・（協議）南区協議会推薦会の報告について ・（報告）今後における高齢者福祉施策のあり方について③ ・地域課題について ・その他	10人 （先着順）	南区役所 区振興課 TEL:425-1120
北区協議会	第9回	1月23日（木） 13時30分～	北区役所 3階　31・32会議室	・（報告）今後における高齢者福祉施策のあり方について③ ・地域課題について ・その他	5人 （先着順）	北区役所 区振興課 TEL:523-1168
浜北区協議会	第10回	1月23日（木） 13時30分～	浜北区役所 3階　大会議室	・（答申）浜北勤労青少年ホーム機能の移転について ・（答申）浜松市森岡の家の廃止について ・（答申）浜松市浜北小林グラウンドの廃止について ・（報告）今後における高齢者福祉施策のあり方について③ ・地域課題について ・その他	10人 （先着順）	浜北区役所 区振興課 TEL:585-1141
天竜区協議会	第10回	1月29日（水） 14時00分～	天竜区役所 2階　21・22会議室	・（答申）浜松市佐久間就業改善センターの廃止（管理主体変更）について ・（答申）浜松市天竜花桃の里の廃止（管理主体変更）について ・（報告）今後における高齢者福祉施策のあり方について③ ・地域課題について ・その他	5人程度 （先着順）	天竜区役所 区振興課 TEL:922-0013

＊傍聴の申し込みは、各区役所区振興課へお問い合わせください。